

臨床研究「切除不能進行・再発胃がんに対して全身化学療法を施行された症例の組織中がん免疫関連分子の免疫組織学的研究」について

筑波大学附属病院消化器内科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

がん抗原、がん-リンパ球活性化抑制性共分子、がん組織浸潤リンパ球、がん遺伝子不安定性関連蛋白などは、がん細胞を免疫で排除するための重要な構成要素として知られています。胃がんの診断や手術のために採取されたがん組織と患者さんのカルテのデータを用いて、これら分子の異常を研究します。

② 研究対象者

2006年1月1日から2015年12月31日までに当院で切除不能胃がんのために抗がん剤治療を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年1月31日まで

④ 研究の方法

胃がんの診断や手術のために採取されたがん組織と患者さんのカルテのデータを用いて、がん免疫関連分子の異常を研究します。既に当院において得られた資料のみを使用しますので、患者さんに新たに負担をおかけすることはありません。

⑤ 試料・情報の項目

検査データ、診療記録、胃がん組織

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

なし。また、当院に集積された情報が共同研究機関へ提供されることもありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

兵頭一之介、消化器内科、教授

⑧ 研究機関名および研究責任者名

国立病院機構水戸医療センター、石田博保

国立病院機構霞ヶ浦医療センター、廣瀬充明

筑波記念病院、池澤和人

龍ヶ崎済生会病院、佐藤巳喜夫

新松戸総合医療センター、遠藤慎治

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されて

いる場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：消化器内科 兵頭一之介

電話：029-853-3109、ファックス：029-853-3218

対応可能時間：平日 9～17 時